

■「効果の見える治水事業」

愛媛県 ^{おおさき} 大崎海岸津波・高潮危機管理対策緊急事業

『大崎海岸—津波や高潮につよい愛ある海岸づくり』

愛媛県東予地方局今治土木事務所長 ^{みやおか} 宮岡 ^{ひとし} 等



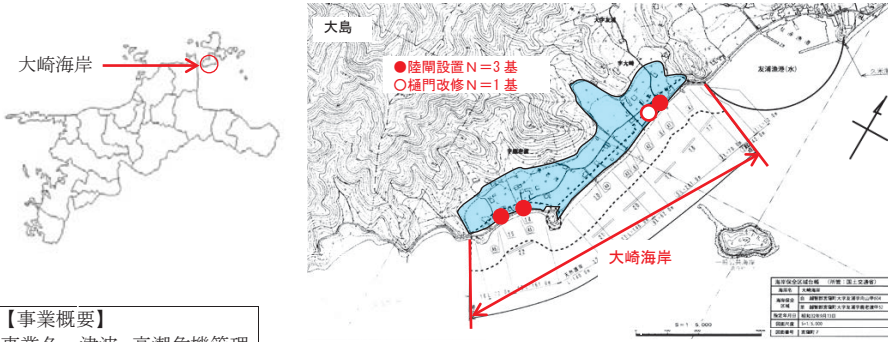
■事業の概要

大崎海岸は、^{ひらなだ} 隠灘 沿岸の今治市島嶼部の大島に位置し、昭和9年には瀬戸内海国立公園に指定され、古くから人と自然とが共存してきた地域であり、風光明媚な海岸として、地域の住民に親しまれている海岸です。

当海岸では、これまでも沿岸域の保全のため、高潮・波浪対策として護岸・離岸堤・樋門等を順次整備するとともに、海岸利用の促進への配慮として開口部を設けていました。

しかしながら、背後地には人家が点在し、生活道路である県道が走っているため、東南海・南海地震に伴う津波や台風による高潮・波浪等の発生時には、背後地に浸水被害が発生する恐れがあります。特に護岸背後地が海岸堤防より低い位置にも人家等が建っているため、地元の住民からは陸開整備の強い要望が寄せられていました。また、昭和30年代に建設された樋門は老朽化が著しく、操作に支障をきたしていました。

このような背景から、平成24年度から津波・高潮危機管理対策事業により開口部における陸開設置及び老朽化した樋門の改修に着手し、平成27年5月に事業が完了しました。これにより、背後地における安全性の向上と樋門の円滑な操作並びに操作者の安全確保を図ることができました。



【事業概要】

事業名 津波・高潮危機管理
対策緊急事業
事業期間 H24～H26
事業内容 陸開設置 N=3 基
樋門改修 N=1 基

完成



安全で豊かな ふれあいを育む海岸をめざして



今治市長 ^{かん} 菅 ^{りょうじ} 良二

今治市は、愛媛県の北東部に位置し、瀬戸内海のほぼ中央にある高縄半島の東半分を占める陸地部と、芸予諸島の南半分の島嶼部からなり、緑豊かな山間地域を背景に、中心市街地の位置する平野部から世界有数の多島美を誇る島嶼部まで多彩な地勢の中で、古くから経済・社会・文化など住民生活において結び付きの深い旧今治市および越智郡11町村が、平成17年1月16日に新設合併し、誕生しました。

合併により、世界有数の海事関連産業（海運・造船・船用工業）が集積したことに加え、各地域の有する多彩な地域資源を生かした広域観光圏の形成など将来に向けた新しい可能性も広がりました。現在は、「市民誰もが今治を愛し、合併して良かったと実感できる今治市の実現」を目指し、行政力・市民力・地域力・産業力・教育力の5つの底力を基本にまちづくりを進めているところです。

さて、大崎海岸では、東南海・南海地震に伴う津波や台風による高潮・波浪などの被害が懸念される中、愛媛県の施工により陸開の設置及び樋門の改修工事が完了し、背後地の地域住民が安全で安心な生活を送ることができるようになりました。

また、今治市においても、海岸が存する景観・環境を配慮する観点から、地元海域の維持浚渫砂を活用した「面的防護方式」の治水事業を推進しています。さらに、多くの方々に親しんでもらえる水際空間を創出するために、地域住民の協力を得て、松の苗木を植樹しました。将来、白砂青松の美しい海岸となり、日本の原風景の再現となることを期待しています。

大崎海岸周辺には、2014年本屋大賞受賞作「村上海賊の娘」で一躍脚光を浴びている「村上水軍博物館」があり、第15回瀬戸内しまなみ海道スリーデーマーチ（平成27年10月2・3・4日開催）の「村上水軍博物館～隠灘眺望コース」にも選ばれました。また、広島県尾道市と今治市をつなぐ島々は、「サイクリストの聖地」として、日本国内はもとより、海外でも知名度が高くなっています。戦国時代に想いを馳せながら、徒歩での散策や自転車、風光明媚な隠灘と自然豊かな大島を堪能していただきたいと思います。

最後に、今後も四国地方整備局、愛媛県及び今治市が一体となり、安全で豊かな ふれあいを育む海岸整備を進めてまいります。

